産経新聞　＜第三種郵便物認

災害時の通信手段で脚光

アマ無線 復権の兆し

将来想定される巨大地震による通信途絶が懸念される中、災害時の通信手段としてアマチュア無線を活用する動きが県内で広がりを見せている。基地局を介さないと通話できない携帯電話と違い、無線機同士で通話できるアマチュア無線は災害時に役立つからだ。地域における防災組織としての役割も担いそうだ。

（川上朝栄）

災害時の活用に向けて通信訓練を行う「鎌倉大町非常通信アマチュア無線クラブ」のメンバー＝鎌倉市大町

「これからロールコール（無線信号のやり取り）を行います。チェックインをお願いします」

毎週火曜日午後9時半、鎌倉市内のアマチュア無線グループ「鎌倉大町非常通信アマチュア無線クラブ」による定期通信訓練が始まる。

鎌倉市・大町地区は海岸から約1キロ圏内に位置しており、東日本大震災の発生以降、繰り返し避難訓練を行うなど住民の防災意識は高い。大震災時に携帯電話やメールの利用が困難になるなど、「情報孤立」に陥ったため、住民の間から「災害時の通信手段の確保が必要」との声が上がり、地元消防団のメンバーを中心に平成23年11月に発足した。現在18人が活動しており、無線免許取得に向けた勉強会なども行っている。

アマチュア無線の最大の強みは災害時でも通信可能な点だ。携帯電話の中継局が停電や災害で稼働しない場合でも、バッテリーなどの電源が確保されていれば通話できる。また、ラジオのように一度に複数の人が聞くことができることから支援要請でも威力を発揮する。

アマチュア無線は昭和50年代に若者を中心にブームとなり、愛好家が100万人超となるなど「趣味の王様」とまで呼ばれた時期もあったが、その後は携帯電話の普及で下火になり、現在は44万人にまで落ち込んでいる。しかし、大震災後は再び注目が集まり、初級となる4級受験者（23年度）が前年度に比べて300人以上増えるなど、復権の兆しを見せている。

県内では横須賀市と市内の無線愛好家などで組織する「横須賀市アマチュア無線局非常通信連絡実行協議会」が横須賀市医師会と災害救護で提携。2月3日には横須賀市役所と支所との間を無線で結ぶ通信試験も行う。

横浜市も愛好家グループと協定を結んでいる。災害時にはアマチュア無線家が避難所に無線機を持ち込み、通信拠点として活用することも検討している。

ただ、多くのアマチュア無線グループは自主防災組織として活動しており、行政と連携する動きは少ない。今後は官民一体となった組織づくりが課題になりそうだ。

320人が調査列車試乗

東海道貨物支線の検討協

JR東海道線などに並行し臨海部を走る東海道貨物支線の貨客併用化を目指すで、国内最大の鉄道コンテ

集積する横浜、川崎、東京の臨海部を通る貨物路線車を初めて運行した。

東京貨物ターミナル（東京都品川区）―品川駅（港区）、浜川崎駅（川崎市川崎区）―東高島駅（横浜市神奈川区）の2区間計約15キロに新線を整備する計画もある。

今回の調査列車は茅ケ崎駅（茅ケ崎市）を出発、貨物専用の横浜羽沢駅（横浜市神奈川区）、浜川崎駅を通過、東京貨物ターミナルで折り返し、関内駅（横浜市中区）に到着した。

同乗した黒岩祐治知事は「新線整備は（4千億円もの）莫大な事業費がかかる。既存ルートでも十分メリットがあり、そこから検討を進めたい」と話した。

「証明屋」開設し免許証など偽造

容疑の男逮捕

県警生活安全総務課などは30日、有印公文書偽造容疑で自営業（40）助）した い」と 逮ごろ 用す 転免 して

同

神奈川

横浜総局
〒231-0015
横浜市中区尾上町6-87-3
☎045・681・0921（代）
FAX 045・224・6856
yokohama@sankei.co.jp
広告 03・3275・8662
購読申し込み 0120・81・2950
配達・集金 0120・34・4646
紙面・記事 03・3275・8864
Web
http://sankei.jp.msn.com/region/region.htm

あすのこよみ

（1日）
旧12月21日
《友引》

月齢…… 20.3
日出…… 6：41
日入…… 17：09
月出…… 22：22
月入…… 9：04
満潮…… 7：53 / 20：05
干潮…… 1：42 / 14：04
中潮……（東京）

黒岩日誌

30日

【午前】横浜ベイシェラトンホテル&タワーズで開かれた神奈川